第６学年１組　体育科保健領域学習指導案

日　時：令和７年 11 月 17 日（月）第５限
指導者：教諭　佐藤信幸（朝霧台小学校）
場　所：６年１組教室

１　単元名　病気の予防　～朝霧診療科・自分カルテ～

２　単元の目標
・病気の起こり方、病原体が主な要因となって起こる病気の予防、生活行動が主な要因となって起こる病気の予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、地域の様々な保健活動の取り組みについて理解することができる。【知識及び技能】
・病気の予防について、課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。【思考力，判断力，表現力等】
・病気の予防について、健康や安全の大切さに気付き、自己や家族の健康の保持増進や回復に進んで取り組もうとする。【学びに向かう力，人間性等】

３　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
病気の起こり方、病原体が主な要因となって起こる病気の予防、生活行動が主な要因となって起こる病気の予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、地域の様々な保健活動の取り組みについて理解している。	病気の予防について、現状の課題を資料やゲストティーチャーの話から見つけ、自分事として解決に向けた取り組みや方法を思考・判断するとともに、考えたことを表現している。	病気の予防について、健康や安全の大切さを自分事として捉えると共に、自己や家族の健康の保持増進や回復に向けて、学んだことをもとにして進んで取り組もうとしている。

４　指導に当たって
（１）　教材観

本単元は、学習指導要領第６学年「G　保健　（３）病気の予防」に関わる学習であり、その中でがんについても触れられている。

がんは、近年我が国の死亡原因として急激に増加しており、１９８１年から日本人の死因の第一位となっている。現在、日本人の二人に一人はがんにかかると推計されており、特に６０歳以上で罹患率が増加し、女性よりも男性が多い。その原因として喫煙や過度の飲酒など、がんのリスクを高める生活習慣が男性に多いことが考えられているが、子宮頸がんや乳がんなどは若い女性が罹患する場合も多く、少数ではあるが子どもがかかるがんもある。またがん全体の約半分が原因不明であり、生活習慣だけがリスクであるとは限らない。つまり、がんは誰でもかかる可能性のある病であり、がんに対する正しい知識と予防に向けた取り組みの普及が求められている。

がんは、早期発見、早期治療が肝要である。多くのがんは、早期に発見すれば約９割が治るとされ、様々な治療法を選択することで、生活の質を維持することもできる。しかし、我が国のがん検診はほとんどの部位で受診率が５０％に達しておらず、がんの予防や治療について必ずしも適切な行動が取れているとは言えない。

また、「がんとともに生きる社会」となった我が国において、がん患者の体の苦痛や心の苦痛を取り除いたり、治療を受けながら仕事を続けるなど、がん患者の生活の質を向上させる社会や人々の取り組みが一層求められている。

以上のことから、この「がん教育」では、がんに対する正しい知識や理解を習得すると共に、がん

を予防するための行動やがん患者への関わり方など、これからの社会を生きる児童達にとって大変重要な学びや実践意欲を得ることができる学習であると言える。

（２） 児童観

本学習に先立ち、現時点でのがんに対する知識・理解や、がんに対する意識を確かめるために、アンケートを行った。

がんに対する知識・理解（表１）を見ると、ほとんどの児童が「がんは誰もがかかる可能性のある病気である」を正しいと回答したり、「体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い」を誤りと解答しているなど、がんは誰でもかかりうる病気であり、検診が大切だと理解している。しかし、がんが日本人の死因の一位になっていることについては、半数の児童が分かっていなかった。

また、がんに対する意識（表２）を見ると、「自分はがんにならないと思う」で「そう思う」「ややそう思う」と答えた児童は約半数であり、楽観的な見方をしている児童が多い。また、「がん患者を支える仕事に興味がある」という質問に対しても、「そう思わない」が４０％を占めている。このことから、児童にとってがんという病気やがん患者は身近な存在では無く、イメージできていない現状が見て取れる。

表１．がんに対する知識の有無　（小数点以下四捨五入）

質　問　項　目	「正しい」と回答	「誤り」と回答
がんは誰もがかかる可能性のある病気である。	97%	3%
がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。	97%	3%
がんは日本人の死因の第２位である。	50%	50%
たばこを吸わないこと、バランスよく食事をすること、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。	100%	0%
早期発見すれば、がんは治りやすい。	80%	20%
体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い。	3%	97%
がんの治療法には手術治療しかない。	20%	80%
がんの痛みは我慢するしかない。	83%	17%

表２．がんに対する意識（小数点以下四捨五入）

質　問　項　目	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。	73%	23%	3%	0%
がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。	73%	20%	7%	0%
自分はがんにならないと思う。	3%	40%	33%	23%
将来、たばこは吸わないでいようと思う。	83%	13%	3%	0%

日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。	73%	20%	7%	0%
がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	60%	33%	7%	0%
がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである。	10%	33%	30%	26%
がんになっても生活の質を高めることができる。	0%	40%	40%	20%
がん患者を支える仕事に興味がある	10%	26%	23%	40%
がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。	70%	26%	0%	3%
がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う。	26%	50%	10%	13%
家族や身近な人が健康であってほしいと思う。	86%	14%	0%	0%
長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。	86%	7%	7%	0%

（３） 指導観

重点　一人一人の〇〇たい！が生まれ探究できる手立ての工夫

①一人一人の〇〇たい！が生まれるように、病気の予防や治療について自分事として捉える単元導入の工夫をする。

本単元は、病気の起こり方や予防法などの知識を習得するだけでは、今現在の児童にとって身近な内容とは言えず、「〇〇たい！」が生まれにくいと考える。そこで、もし自分や家族が病気にかかった時に、治療や回復に向けた行動や心構えを取るための「自分カルテ」を作るという目的を単元導入で持たせたい。その際、教師が実際に経験してきた病院での事例をもとに、病気を予防することや、治療に向けた行動がいかに大切かを単元導入で気付かせたい。

授業では、毎時間の後半に「自分だったら～」を考える場面を設定し、心や体の両面から適切な行動を取るための「自分カルテ」を作成していく。そして、単元の最後に自分が作ったカルテを印刷し、児童に冊子として還元することで、学んだことをこれからの生活に生かしていこうとする意欲を持たせたい。

②一人一人の〇〇たい！が探究できるように、実際に病気になった方の体験談を紹介し、予防や治療に向けた解決策について個人や集団で話し合う機会を設ける。

病気は、健康な時はその大変さが分からず、教科書上で知識を得るだけではうわべだけで分かったつもりになってしまうと考えられる。そこで、自分自身が発熱や感染症などで苦しんだ経験はもちろん、図書資料やインターネットからの資料、実際に病気を経験された方の話を聞くなどして、病気がいかに心や体、さらに社会生活において負担があるのかということに気付かせたい。その上で、「どうやったら予防できるか」「どのような治療があるのか」「社会生活を送る上でどんなことに気をつけたら良いのか」を積極的に探究していこうとする意欲を持たせたい。

また、本単元は、「朝霧診療科」と銘打って、単元を通して病気の予防や治療についての意識を継続させていく。現在の医療は、チーム医療が基本である。そこで、個別に調べた後、班や全体などの集団で分かった事を共有したり、話し合いを深めるなど、チームとしてカンファレンスを行うことで、病気の予防や治療についての探究活動が活発になるようにしたい。

5　指導と評価の計画（９時間）

次	ねらい	児童の活動や意識の流れ	指導と評価 ※は指導に生かす評価 ■は記録に残す評価
第一次 １時間	単元全体の学習の見通しを持つと共に、「病気の予防や治療について学んでいきたい！」という意欲を高めることができる。	＜「病気」にはどんなものがあるのかな？＞ ・かぜや新型コロナ感染症などの、菌やウィルスなどが原因のものがある。 ・虫歯も病気のひとつかな？ ・心臓病や糖尿病などの、内臓の機能が低下するものもある。 ・がんも、亡くなる人が多い病気って聞いたことがあるよ。 ○病気にかかると、何か困ることはあるのかな。 ・体がだるくなったり、痛くなったりするよ。 ・学校や仕事を休まなくてはいけなくなるよ。 ・治療にも、お金がかかりそうだね。 ・いろんな人に迷惑をかけそう。 ・資料を見ると、どの年代でも病気で亡くなる人が圧倒的に多いんだね。 ［病気には、感染症、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用により起こる病気など、様々な種類があり、病気になると心や体に大きな負担がかかる。］ ○この単元で、どんなことを学んだら、これからの生活に生かしていけそうかな。 ・まずは、病気の種類を知りたい。 ・それぞれの病気の特徴と、病気になった時の治療方法について知りたいな。 ・そもそも、病気を予防するための方法も知りたいよ。 ・自分はもちろん、家族や身近な人が病気になったときに、どうしてあげたらいいかも知っていきたいな。	重点① ・自分が病気なった経験を話し合うことで、本単元の学習を自分事として捉えられるようにする。 重点① ・病院の「カルテ」を例示することで、健康な生活のために個人に寄り添った学びが必要であることに興味を持たせ、「学びたい！」という意欲を高める。 ※［主］ 観察，記録
	＜＜病気の予防や治療について詳しく調べ、「自分カルテ」を作ろう＞＞		
第二次 ７時間	病気の種類や原因について知り、予防するための方策や回復するための方策について自分事として考えていくことができる。	＜感染症は、どのようにして起こり、どのように防いだり治療したりしたら良いのかな？＞ ・かぜ、インフルエンザ、新型コロナウィルス感染症などは、ウィルスがうつることで感染していく病気だよ。 ・実際に感染症で亡くなっている人もたくさんいるし、ひどくなった人の事例も聞	重点② ・一年間に感染症に罹患した人のデータや、感染症にかかった人の実話を資料として提示することで、予防や治療に向けた探究意欲を高める。

		くと、甘くみてはいけない病気だね。 ・調べてみると、病原体を無くす、感染経路を断ち切る、体の抵抗力を高めることが予防に効果があるみたいだね。 ・感染症にかかったら、早めに治療を受けたり、安静にしたりすることで回復が早まるみたいだね。 ・今日学んだことを、「自分カルテ」にまとめておこう。 感染症は、主に細菌やウィルスが原因で起こる。そのため、病原体を無くしたり、感染経路を断ち切ったり、体の抵抗力を高めることで予防できる。また、感染症にかかったら、早めに治療を受けたり、安静にしたりすることで回復が早まる。 ＜虫歯や歯周病は、どのようにして起こり、どのように防いだり治療したりしたら良いのかな？＞ ・虫歯は、口の中の細菌が酸を出し、徐々に歯を溶かしていく病気だよ。 ・実際に虫歯や歯周病になると、ずっと痛みが続いて夜も眠れなくなったり、歯を失ったりする原因にもなるね。 ・調べてみると、食後に歯を磨いたり、食べる時間を決めて長時間口の中に食べ物を入れておかないようにしたりすることが大切だね。 ・虫歯や歯周病は、かぜなどと違って勝手に治ることは無いから、すぐに歯医者に行って治療してもらうことが大切だね。 ・今日学んだことを、「自分カルテ」にまとめておこう。 虫歯は、口の中の細菌が酸を出すことで起こり、歯周病は歯垢がたまることで起こる。そのため、食後にすぐ歯を磨いたり、長時間口の中に食べ物を入れておかないようにしたりすることで防ぐことができ、虫歯や歯周病になったらすぐに歯科医に見てもらうことが大切だ。 ＜喫煙にはどんな害があり、どのように防いだり治療したりしたら良いのかな？＞ ・喫煙により、がんや心臓病、COPDなどの肺疾患が起こりやすくなるんだね。 ・実際に肺がんやCOPDになった人の事例を見ると、とても苦しそうで、なんだかか	重点② ・個人で調べた後に、班や全体で討議（カンファレンス）を行うことで、探究活動を活発にさせる。 重点① ・学んだ事をオクリンクプラスの「自分カルテ」にまとめることで、学びを整理するとともに、学びの内容をポートフォリオにまとめて見返すことができるようにする。 ■［知］ 観察、自分カルテ 重点② ・一年間に虫歯や歯周病に罹患した人のデータや、実話を資料として提示することで、予防や治療に向けた探究意欲を高める。 重点② ・個人で調べた後に、班や全体で討議（カンファレンス）を行うことで、探究活動を活発にさせる。 重点① ・学んだ事をオクリンクプラスの「自分カルテ」にまとめることで、学びを整理するとともに、学びの内容をポートフォリオにまとめて見返すことができるようにする。 ■［知］ 観察、自分カルテ 重点② ・喫煙により黒くなった肺の写真や、喫煙とがん、心臓病のリスクが分かる資

		わいそうになってくるね。 ・たばこによる害を防ぐためには、まず 20 歳未満では絶対に吸わないこと。 ・どうやら、たばこを吸う人だけでなく、周りにいる人も受動喫煙によって害が及ぶらしいよ。 ・自分が受動喫煙しないように行動することはもちろん、周りの人に迷惑をかけないように吸う場所を考えることも大切だね。 ・喫煙がやめられない人には、「喫煙外来」などのサポートがあるみたいだよ。 ・もし周りに困っている人がいたら、教えてあげようかな。 ・今日学んだことを、「自分カルテ」にまとめておこう。 喫煙により、がんや心臓病、COPD などの肺疾患が起こりやすくなる。それを防ぐためには、自分が吸わないのはもちろん、受動喫煙にも気をつける。また、治療には、様々なサポートを利用する方法がある。	料、実際に肺機能が低下した方の実話を資料として提示することで、予防や治療に向けた探究意欲を高める。 重点② ・個人で調べた後に、班や全体で討議（カンファレンス）を行うことで、探究活動を活発にさせる。 重点① ・学んだ事をオクリンクプラスの「自分カルテ」にまとめることで、学びを整理するとともに、学びの内容をポートフォリオにまとめて見返すことができるようにする。 ■［知］ 観察、自分カルテ
		＜飲酒にはどんな害があり、どのように防いだり治療したりしたら良いのかな？＞ ・飲酒により、急性に起こる症状と、内蔵機能が低下して様々な病気にかかりやすくなる害があるんだね。 ・飲酒をやめられなくなった人の事例を見ると、体はもちろん、心や社会生活にも大きなダメージがあるみたいだね。 ・これらを防ぐためには、喫煙と同じく 20 歳未満では飲まない、人に勧められても無理に飲まない、運転するときには絶対に飲まない、などの対策をすることが大切だよ。 ・喫煙の時と同じく、アルコール依存になったときには、専門外来や自助グループなどの、社会のサポートを受けることができるみたいだね。 ・もし周りに困っている人がいたら、教えてあげようかな。 ・今日学んだことを、「自分カルテ」にまとめておこう。	重点② ・飲酒により急性中毒で亡くなった事例、長年の飲酒により内臓器官に様々なダメージを受けた事例や実話を資料として提示することで、予防や治療に向けた探究意欲を高める。 重点② ・個人で調べた後に、班や全体で討議（カンファレンス）を行うことで、探究活動を活発にさせる。 重点① ・学んだ事をオクリンクプラスの「自分カルテ」にまとめることで、学びを整理するとともに、学びの

		飲酒により、急性で起こる症状や、長い間飲酒することによる内蔵機能の低下が起こる。それを防ぐためには、20 歳未満では絶対飲まない、人に勧められても無理はしない、人にも無理強いしない、運転の前には絶対に飲酒しないなどの対策が必要だ。また、治療には、様々なサポートを利用する方法がある。 ＜がん、心臓病、脳卒中は、どのようにして起こり、どのように防いだり治療したりしたら良いのかな？＞ ・がん、心臓病、脳卒中は、日本人の死因ベスト３であり、この３つだけで約半数をしめているよ。 ・特にがんは、何だかこわい病気というイメージがあるよ。 ・この 3 つの病気は、これまで学んだ食事、運動、睡眠、喫煙、飲酒などの生活習慣が原因で引き起こされることが多いみたいだね。 ・ということは、これらの生活習慣を改善すれば、予防できるということかな。 ・でも、資料では、がんの約半数は原因不明であり、子どももがんになる場合もあるみたいだね。 ・実際、10〜14 歳の死因として、がんは 1 位を占めているよ。 ・つまり、がんは誰にでも起こりうる病気ということだ。 ・もし、自分や家族ががんになったら、どうしよう？　何だか、とても怖くなってきたよ。 ・とりあえず、今日学んだことを「自分カルテ」にまとめるけど・・・実際にがんになった人に、話を聞いてみたいな。 がん、心臓病、脳卒中は、日本人の死因の多くを占めており、生活習慣が主な原因の場合が多く、生活習慣を改善することでリスクを低下させることができたり、治療することもできるが、原因不明の場合も多く、誰もがかかりうる病気である。 ＜自分や家族ががんになったら、どうしたらいいのかな？＞【本時】	内容をポートフォリオにまとめて見返すことができるようにする。 ■［知］ 観察、自分カルテ 重点② ・がん、心臓病、脳卒中が日本人の死因の約半数を占めており、特にがんは近年急激に増加していることが分かる事例を提示し、予防や治療に向けた探究意欲を高める。 重点② ・個人で調べた後に、班や全体で討議（カンファレンス）を行うことで、探究活動を活発にさせる。 重点① ・がんは、約半数が原因不明であり、子どもでも亡くなる病気であることが分かる資料を提示することで、がんを自分事として捉えるとともに、予防や治療をするためにはどうしたらいいのかという探究意欲をかき立てる。 ■［知］ 観察、自分カルテ

		＜薬物を乱用すると、どんな害があり、どのように防いだり治療したりしたら良いのかな？＞ ・薬物には、様々な種類があり、体に様々な影響があるみたいだ。 ・薬物を乱用した人の事例を見ると、一度乱用することで止められなくなり、幻覚が現れたり、社会的な生活ができなくなったりするなど、とても恐ろしいことが起こるようだ。 ・薬物による害を防ぐためには、絶対に使用しない、誘われても断るなどの強い決意が必要だ。 ・治療には、やはり病院や地域のサポートがあるようだ。 ・もし将来、自分や身近な人が被害にあった時を考えて、そのような社会のサポートがあることを知っておくといいね。 ・今日学んだことを、「自分カルテ」にまとめておこう。 薬物を乱用することにより、身体に様々な悪影響があるだけでなく、精神的にも大きなダメージを受け、社会生活が送れなくなるなどのとても恐ろしい事が起こる。これを防ぐためには、絶対に使用しない、誘われても断るなどの強い決意が必要だ。また、治療には、様々なサポートを利用する方法がある。	重点② ・薬物乱用による、身体的・精神的・社会的なダメージが起こることが分かる資料や、実話を提示することで、予防や治療に向けた探究意欲を高める。 重点② ・個人で調べた後に、班や全体で討議（カンファレンス）を行うことで、探究活動を活発にさせる。 重点① ・学んだ事をオクリンクプラスの「自分カルテ」にまとめることで、学びを整理するとともに、学びの内容をポートフォリオにまとめて見返すことができるようにする。 ■［知］ 観察、自分カルテ
第三次 １時間	これまで学んだことをふり返り、単元の学習で得た知識を自分事として今後の生活に生かしていこうとする意欲を持つことができる。	＜病気から自分や家族を守るために、これからどんなことに気をつけていったらいいのかな？＞ ・まずは、病気や喫煙・飲酒・薬物の害などに対する正しい知識を持つことが大切だね。 ・自分の生活習慣についても気をつけておく必要があるね。 ・検診や予防接種など、病気に対して先手を打っておくことも大切だね。 ・病気なったら、家族だけでなく、病院や保健センター、自助グループなど、様々なサポートを受けることができる。だから、一人で悩まずに、いろんな人に相談をすることも大切だ。 ・今回の単元で学んだことを、自分だけでなく、家族にも伝えていきたいな。 ・「自分カルテ」が、完成したよ！	重点① ・これまでの学びを整理・分析することができるように、オクリンクプラスにためてきた「自分カルテ」を一つにつなげ、見返すことができるようにする。 重点① ・本単元の学びをどのように生かしていこうかを、「予防」「治療・回復」の観点で分けて振り返りを記入させ、最後に冊子にして児童に渡すことで、自分や家族の健康のため

		病気から自分や家族を守るためには、病気に対する様々な知識を持つことはもちろん、病気の予防に向けて具体的に行動したり、様々なサポート機関を利用したりすることが大切だ。これから、自分や家族のために学びを生かして、健康な生活を送っていきたいな。	に今後の生活に生かしていこうとする実践意欲を高める。 ■［思］ 自分カルテ ■［主］ 自分カルテ

6　本時の学習（第二次６時）

（1）ねらい　　自分や家族ががんになったら、どのように治療したり、社会生活を送ったりしたら良いのかを、ゲストティーチャーの話を聞くことで、自分事として解決に向けた取り組みや方法を考えることができる。　　　　　　　　　　　　　【思考力, 判断力, 表現力等】

（2）学習過程

学習活動	時	児童の主な思考の流れ	指導と評価
1．課題をつかむ。	3	・前回、がんは誰でもかかる病気で、大人だけで無く、子どももがんにかかって亡くなっていることが分かったよ。 ・今、とても不安な気持ちだよ。 ・実際にがんを体験された方の話を聞いて、少しでも不安な気持ちを取り除きたいな。 <自分や家族ががんになったら、どうしたらいいかな？>	・前時までに提示した資料を掲示しておくことで、これまでの学びを連続したものとして捉えられるようにする。
2．質問したいことを、班で話し合う。	7	○今日は、実際にがんを経験された方が来ていらっしゃいます。今不安や疑問に思っていることを、班で話し合って質問しよう。 心理的なこと ・がんになった時、どんな気持ちだったのかな？ ・がんになった時、周りの人にどう接して欲しいのかな？ 身体的なこと ・がんになったら、痛みや体の不調はあったのかな？ ・がんだと分かったきっかけは何かな？ 治療のこと ・どうやって、治したのかな？ ・治療は、どれぐらい期間がかかったのかな？ ・お金はどれぐらいかかるのかな？ ・治療は、痛みや苦しみはあったのかな？ ・今も治療を続けているのかな？ 社会生活のこと ・がんの治療をしている間、仕事はどうしていたのかな？	・ゲストティーチャーの方の経歴や現在の活動内容について紹介することで、どんなことを質問したいかについてのイメージを膨らませる。 重点② ・ゲストティーチャーの方に質問したいことをグループで話し合うことで、探究したい内容を広げたり深めたりさせる。

		・がんの治療をした後、日常生活で困ることはあるのかな？ ・なぜ、現在、「ピアサポーター」をされているのかな？ その他、全般のこと ・私たちがこれから気をつけることは、何かあるのかな？ ・家族や身近な人ががんになったら、どうしたらいいのかな？	・児童から出た質問内容を、板書で項目ごとに整理することで、ゲストティーチャーの方が答える内容を精選できるようにする。
3．実際にがんを経験された方の話を聞く。	15	講師：30 代女性。がん経験者 現在は、石川県がん安心生活サポートハウス がんサロン　つどい場「はなうめ」のピアサポーターとして活動中	
4．ゲストティーチャーの方の話を受けて、自分が特に気をつけていきたいことを話し合う。	10	○講師の方の話を聞き、これから特にどんなことに気をつけていきたいかな？ ・がんは誰にでもかかる病気であることが分かったから、大人になったら検診をしっかりと受けていきたいよ。 ・がんになっても、早期発見であれば治療できる確率が高くなることが分かった。だから、前向きに治療をしていきたいよ。 ・がんになったら、周りの人のサポートがとても大切だと分かったよ。だから、家族や身近な人ががんになったら、できる限り支えてあげたいよ。	重点② ・ゲストティーチャーの方の話を聞き、特に気をつけたいことをグループで話し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりさせる。 ・話を聞いている児童が希望を持って授業を終えられるように、ゲストティーチャーの方からエールをいただく。
5．児童の感想を受けて、ゲストティーチャーの方にコメントをもらう。	5	○みんなの感想を聞いてゲストティーチャーの方から、最後にメッセージをもらおう。 自分や家族ががんになったら、初めはとても落ち込むことが分かったよ。だけど、早期発見することで治療ができたり、元の生活に戻れることが分かった。そして、前向きになるためには、周りの人々のサポートが大切であると分かった。	■［思］ 自分や家族ががんになった時に気をつけたいことについて、自分事として解決に向けた取り組みや方法を考えている。 自分カルテ
6．まとめ、ふり返る。	5	・今日は、とても貴重な話を聞くことができて、勉強になったな。これからこの学びが生かされることがあるかもしれないから、「自分カルテ」に記録して、しっかりと覚えておこう。	重点① ・学んだ事をオクリンクプラスの「自分カルテ」にまとめることで、学びを整理するとともに、学びの内容をポートフォリオにまとめて見返すことができるようにする。

7　板書計画

<自分や家族ががんになったら、どうしたらいいのかな？>

日本人の死因のグラフ

がんの種類のグラフ

がんの原因のグラフ

ゲストティーチャーの方の顔写真と、経歴､現在の活動の様子の紹介

ゲストティーチャーの方が持参した資料を貼る。（あれば）

質問したいこと

心理的なこと

身体的なこと

治療のこと

社会生活のこと

その他、全般のこと

まとめ
自分でキーワードを見つけて、書く。